

田嶋文生教授が日本遺伝学会 木原賞を受賞

■ 野崎 久義（生物科学専攻 准教授）

生物科学専攻の田嶋文生教授は、「進化集団遺伝学に関する理論および統計学的研究」の功績により、日本遺伝学会木原賞を受賞されました。木原賞は、日本遺伝学会の最高位の賞で、遺伝学の実験分野で優れた業績をあげた者に授与されるものです。東京大学からは、堀田凱樹教授（1995年、本研究科物理学専攻）、大坪栄一教授（1998年、分子細胞生物学研究所）について3人目の受賞です。田嶋教授は福岡県生まれ、国立遺伝学研究所で助教授を務められた後、1995年に本研究科生物科学専攻に進化多様性生

物学大講座が設立されたとき教授になりました。

田嶋教授のおもな研究テーマは、「DNA多型の保有機構および進化機構の解明」で、とくに「Tajima's D」はDNA多型データから自然選択の有無を検定する統計量として世界的に知られています。遺伝学の実験分野でもっとも権威のあるアメリカ遺伝学会の学会誌「Genetics」によりますと、この雑誌に掲載された全論文の「もっとも引用された論文トップ50」に田嶋教授の論文が2編選ばれています。ひとつは1989年発表の「Tajima's D」の論文で4位、もうひとつは1983年発表の「遺伝子系図学の理論」の論文で23位です。これ以外にも集団遺伝学や分子進化に関する研究は高い評価を受けています。

進化多様性生物学大講座の設立以来、



■ 田嶋文生教授

田嶋教授は学生の教育にも献身的に尽くされていて、進化集団遺伝学分野の有能な後継者を輩出しています。田嶋先生には、今後ますます活躍されますよう祈念いたします。

「東大理学部で考える女子高 校生の未来」を12月に開催

■ 広報誌編集委員会

来る2008年12月14日（日）に、理学部1号館小柴ホールにおいて、「東大理学部で考える女子高校生の未来」を開催します。これは、理学系研究科の広報委員会と男女共同参画委員会が共同で企画したもので、午前のPart1と午後のPart2の2つのイベントから成っています。

Part1は、「女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷」で、「高校生のためのサイエンスカフェ本郷」の第5回目にあたるものです。定員は50名、対象は女子高校生です。理学系研究科天文学専攻の卒業生でオーストラリア国立大学ストロムロ主任研究員の小林千晶さんによる「銀河考古学 - 星の化学組成が語る宇宙の歴史 -」の講演のあと、昼食を

とりながら大学生活や研究のことについて大学院生と気軽に話をする時間を設け、そのあと研究室見学を行うというもので、午前10時から午後1時30分までの間で行われます（午前9時30分開場）。

引き続き行うPart2は、女子学生の将来を考えるシンポジウム、「理学ってこんなにおもしろい！ - 理学部で将来を考える親子参加のシンポジウム -」です。3名の先輩女子学生が「私が理学を選んだ理由」というテーマでお話しし、生物科学専攻、真行寺千佳子准教授による「自然科学の魅力と私が来た道」の講演のあと、上記4名の先輩女性によるパネルディスカッション、「理学を思いっきり楽しもう！ 大学生活とその後の進路」を行います。午後2時30分から午後5時の間で行われ（14時開場）、定員は100名、対象は女子高校生・保護者・高校教師で、必ずしも親子で参加する必要はありません。Part1あるいはPart2のみの参加も可能です。詳しくはホームページ（<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/girls08>）をご覧ください。



Science Cafe Hongo

東大理学部で考える女子高校生の未来

2008年12月14日(日)
東京大学本郷キャンパス
理学部1号館2階小柴ホール
(東京都文京区本郷6-7-1)

女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷
東大理学部理学系研究科天文学専攻の卒業生による講演・対話・懇話会。女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷。女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷。女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷。

11月16日(日) 必読
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/girls08/>

Science Cafe Hongo

東大理学部で考える女子高校生の未来

2008年12月14日(日)
東京大学本郷キャンパス
理学部1号館2階小柴ホール
(東京都文京区本郷6-7-1)

**理学ってこんなにおもしろい！
一理学部で将来を考える親子参加のシンポジウム**
女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷。女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷。女子高校生のためのサイエンスカフェ本郷。

11月16日(日) 必読
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/girls08/>